

季刊・オーディオ アクセサリー

# Audio Accessory

2021 AUTUMN 182

この秋も、巣ごもりオーディオ三昧、

土方久明監修

## スピーカーを 10万円で 買う!



サブスクから  
レコード、CDまで  
いい音で音楽を楽しもう!

9人の評論家が自作する

### 電源ケーブル 選手権 2021

EISA

2021

phile  
web

AUDIO  
ACCESSORY  
BEST BUY 2021

AUDIENCE

## frontRow Series

シャープでハイコントラスト  
サウンドステージは広く透明感が高い  
主宰者の考え方が徹底されている  
ダイレクトでストイックな音

frontRow Audio Interconnect RCA to RCA  
¥471,900(1.0mペア / 税込)frontRow XLR Audio Interconnect  
¥543,400(1.0mペア / 税込)frontRow Loudspeaker Cable  
¥572,000(1.0mペア / 税込)frontRow Stereo Phono DIN - RCA  
¥461,175(1.0m / 税込)

## 鈴木 裕

Yutaka Suzuki

## SPEC

- 導体:99.9999% Pure frontRow OCC Copper
- 絶縁体:パーリン架橋ポリエチレンXLPE ●MORREテクノロジー採用 ●取り扱い:純オーディエンスジャパン

## 注目のポイント



frontRowシリーズには上記以外にもデジタルケーブル、ヘッドフォンケーブル、ジャンパーケーブルなどがラインアップされている。写真はfrontRow USB Standard(¥185,900 / 1.0m、税込)。

オーディエンスはアメリカのメーカーでフルレンジのスピーカーやオーディオケーブル類を開発、製造している。新たに日本に導入されるのが最上級のケーブル、フロントロウ・シリーズだ。そこに使われたMORRE(モレ)は、複数の技術を統合した絶縁体についての説明を、実は筆者も今回初めて読んだが、オーディオにおける伝送に関して高いレベルの技術を持っているメーカーだ。詳細はインポーターのウェビサイトを参照してほしいが、MORREの項目だけを挙げてお題の素材「誘電体について」「接続の問題」「抵抗、静電容量、インダクタンス」「共振周波数のダンピング」「ダイアフラマイオド処理」「高電圧を使ったパーシイン技術」「導体の方向性の管理」「導体配置の幾何学的な問題」「製造後の処理、テストについて」といった多くの項目が並ぶ。

本誌試験室にて、インターコネクトの

RCAとXLR、スピーカーケーブル、そしてフォノケーブルを聴いたが、そのキャラクターは一貫していた。基本的にシャープでハイコントラスト、反応がきわめて速く、音の密度が相当に高い。最低域から超高域までくっきり聴かせてくれる。サウンドステージは広く、透明感が高く、音像のピンポイントで定位する様は見事だ。ただし、特にスピーカーケーブルとフォノケーブルについては音楽のタイム感や演奏の推進力といった音楽的な何かを伝える力が強く、広帯域再生であるのにもかかわらず、中域がしっかりと聴こえてくる。さすがにミニエージックラヴァーである主宰者、ジョン・マクドナルドの考え方が徹底されている。クルマで言えば、高級セダンのようなケーブルが多い中、レーシングマシンのようなダイレクトでストイックな音。まさにフロント・ロウと名づけられている所がたまたま。